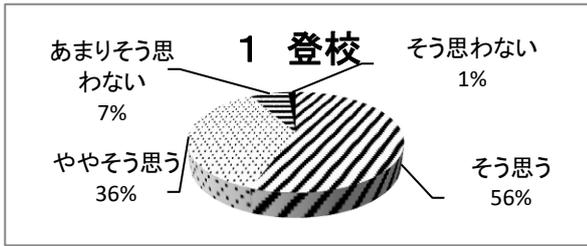


## R5 前期 夷隅っ子アンケート集計結果(保護者)

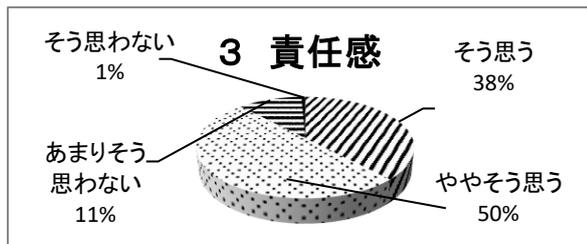
Q1 お子さんは、毎朝学校へ登校することを楽しみにしていますか。



〔考察〕

「そう思う・ややそう思う」が92%で概ね良好である。しかし「あまりそう思わない・そう思わない」と感じている保護者が8%である。児童が、毎日登校を楽しみにする学校づくりをしたい。児童の様子を観察し、よく見ていく。

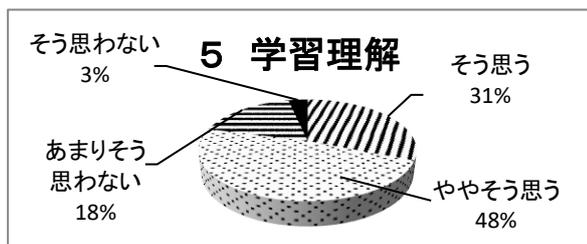
Q3 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいますか。



〔考察〕

12%の保護者が責任感が足りないと感じている。日々の教育活動を通して、責任をもって行動する場を設定し、称賛することで、自己肯定感を高め、責任感の育成に努めたい。

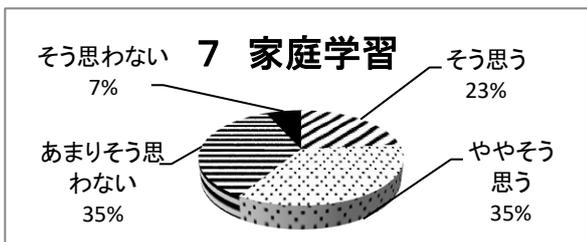
Q5 お子さんは、学校の授業はわかりやすいと言っていますか。



〔考察〕

79%が「そう思う・ややそう思う」と回答している。学習規律の整った学級づくりと、個に応じた指導を充実させるとともに、わかる授業を展開し、児童の主体的な学習による学習理解に努めていきたい。

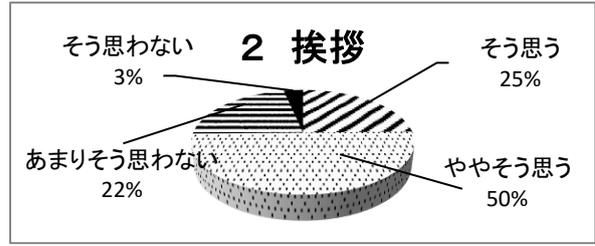
Q7 お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。



〔考察〕

家庭学習の習慣は42%の家庭で十分でないと感じている。家庭学習の習慣化への工夫・改善に引き続き努めたい。

Q2 お子さんは、友だちや近所の人などに自分から進んで挨拶をしていますか。



〔考察〕

75%の保護者が挨拶はできていると感じている。児童が考えた、あいさつスローガン旗を昇降口や体育館に掲げ、高学年を中心に、毎朝あいさつ運動に取り組んでいる。引き続き、挨拶の励行に努めていきたい。

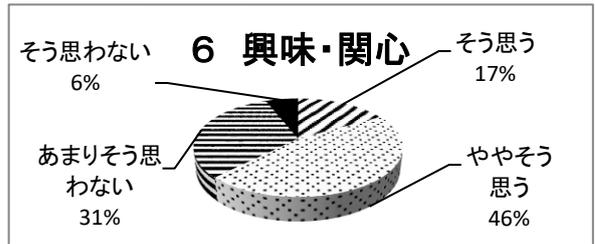
Q4 お子さんは、誰とでも優しく関わっていますか。



〔考察〕

94%の保護者が、誰とでも優しく関わっていると捉えている。今後も、家庭・地域と連携して、道徳教育や心の教育に力を入れていきたい。

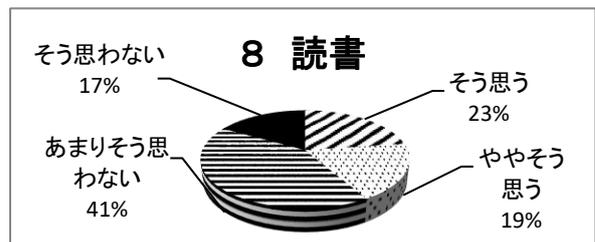
Q6 お子さんは、分からないことを自分から調べるなどいろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいますか。



〔考察〕

37%が「あまりそう思わない・そう思わない」と回答している。児童が、一人一台端末の利活用を通して主体的な学びが実感できる教育活動を更に奨め、改善できるよう取り組んでいきたい。

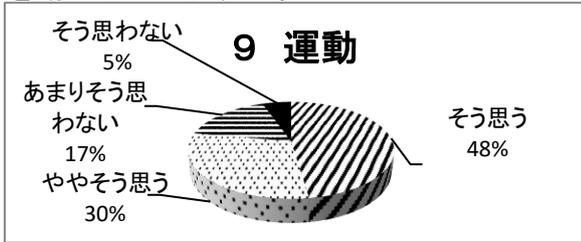
Q8 お子さんは、読書好きに育っていますか。



〔考察〕

58%が努力を求めている。発達段階に応じたアプローチにより、読書の楽しさや魅力に触れさせることで、本に親しみ、読書好きな児童の育成をはかりたい。

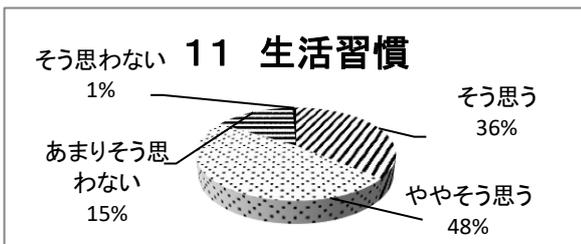
Q9 お子さんは、進んで外で遊ぶなど、体を動かしていますか。



〔考察〕

78%が「そう思う・ややそう思う」と回答している。今後も、外遊びの励行や体育の授業を通して、児童が進んで体を動かすような場の設定をし、運動に親しませたい。

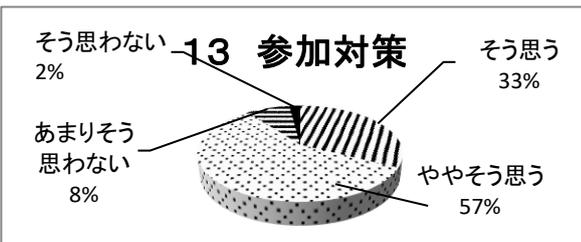
Q11 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠、食習慣など)が身についていますか。



〔考察〕

16%が努力が必要と回答している。家庭教育学級や保健指導を通して、家庭・地域と連携して規則正しい生活習慣が身につくように啓発活動に努めていきたい。

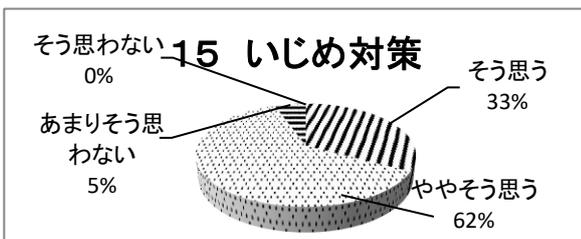
Q13 学校は、保護者や地域の方が、学校行事に参加しやすいように努めていますか。



〔考察〕

90%が良好な結果である。今後もPTA活動を充実させ、家庭・地域の協力を得ながら、参加しやすい学校行事や教育活動に努めていきたい。

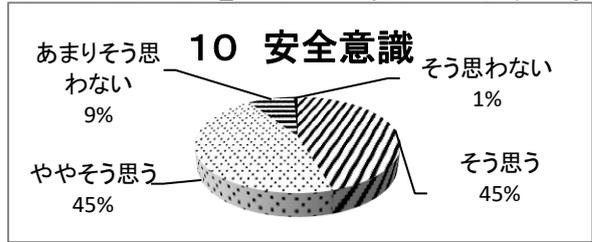
Q15 学校は、いじめや暴力のない学校生活を送れるよう取り組んでいますか。



〔考察〕

95%の保護者が良好な結果である。児童アンケートや教育相談をきめ細かく行い、誰もが安心して学ぶことができる、いじめのない学校をめざしていきたい。

Q10 お子さんは、自らの安全(交通事故やけがなど)に気をつけて生活していますか。



〔考察〕

90%の保護者が、安全に対する意識が高いと捉えている。交通安全教室や安全点検、災害を想定した避難訓練を実施し、今後も全教育活動を通して、安全意識の向上に努めていきたい。

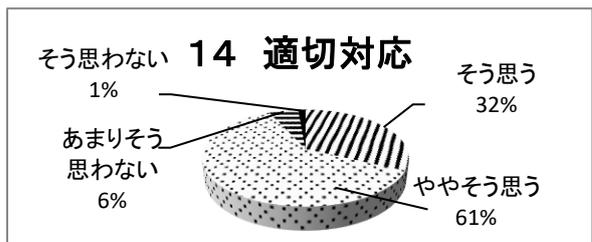
Q12 学校は、たよりやHP等で、お子さんの情報や教育方針・行事等の様子を家庭や地域の方に十分伝えていますか。



〔考察〕

88%が良好な結果である。各種たよりやホームページ等を引き続き充実させ、開かれた学校づくりに結びつけていきたい。

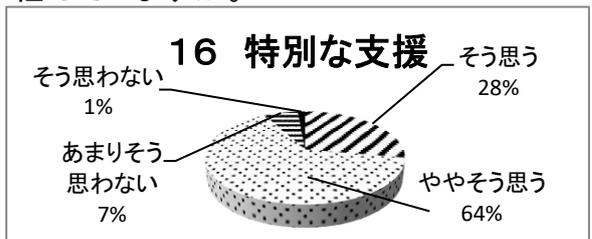
Q14 学校は、保護者の思いや願いに適切に対応していますか。



〔考察〕

93%が良好な結果である。今後も、保護者の思いや願いに真摯に耳を傾けて、教育活動の充実をはかりたい。

Q16 学校は、特別な支援を要する子どもの特性をよく理解し、個に応じた支援に取り組んでいますか。



〔考察〕

92%が良好な結果である。今後も児童一人ひとりを大切にした、個に応じた支援や合意形成を図った上で、ニーズに応じた教育的配慮に努めていきたい。